

# いっまでつづく?! 「うば捨て山」



## 後期高齢者医療制度は、いましてすぐ廃止しかありません

政府は後期高齢者医療制度の廃止を先延ばしして、2013年度に新しい制度をスタートさせるとしています。8月末に、その「新しい医療制度」の案が発表されました。しかしその内容は、後期高齢者医療制度の悪い部分をいっそう拡大するものになっています。廃止どころか存続です。後期高齢者医療制度は、いましてすぐ廃止する以外にありません。

### 高齢者にガマンを強要



「必要な医療を受けたければ保険料の負担増を」、「負担増がいやなら医療をがまんしろ」という二者択一に高齢者を追い込むしくみが後期高齢者医療制度の悪い部分です。保険料が自動的に上がるしくみが残されています。国民の健康を守るという国の責任を投げ捨てるものです。

### 「別勘定」のしくみを残す 「うば捨て山」の存続



75歳以上の高齢者を別の制度に移して医療費を別勘定にし、その一定割合を高齢者に負担させる後期高齢者医療制度。これが年齢による差別、「うば捨て」の制度として批判されました。「新しい医療制度」は、こうした差別のしくみは残ったままです。

### 安心して受けられる 医療制度に

窓口の負担を軽減するなど、敬老の精神にたった医療制度が必要です。公費負担を大幅に増やし、高すぎる保険料を引き下げ、だれもが安心して医療が受けられる医療制度にすることを私たちは求めます。

受付



国会請願署名にご協力を!

# 後期高齢者医療制度即時廃止、 安心の医療を求める請願署名

2010年 月 日

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

紹介議員

請願趣旨

高齢者を差別する「うば捨て山」と怒りが集中した後期高齢者医療制度は、8月末に厚生労働省が見直し案を発表したものの、年齢で区切るしくみや高齢者の保険料が自動的に上がるしくみ、保険料値上げがいやなら医療をがまんしろというしくみなど、後期高齢者医療制度の悪い部分を引き継ぐものになっています。そればかりか、見直し案は、「国保の広域化」をすすめるとして、この悪い部分を国保全体に拡大しようとしています。国保の広域化＝都道府県単位での一本化によって、国保保険料は高い自治体に、減免などの負担軽減は低い自治体に合わせられてしまいます。それでなくても、高額な国民健康保険料(税)が払えないために、無保険状態に追い込まれる事例が増加しています。

また、働く人の3分の1が非正規雇用労働者という状況の下で、医科・歯科医療機関の4割で経済的理由による受診中断・中止が起きています。先進国では医療の窓口負担は無料が当たり前です。日本も無料をめざして、窓口負担の引き下げをすべきです。

だれもが安心して医療を受けられるように、国の財政構造を抜本的に見直して、社会保障費の拡大に大きく舵を切るべき時です。社会保障の拡充は、景気回復にも役立つ政策です。

ぜひ、以下の事項の実現をよろしく願います。

請願項目

1. 後期高齢者医療制度はただちに廃止し、公費負担の増額により、高齢者が安心して医療を受けられるようにしてください。
2. 年齢による差別と保険料が自動的に上がるしくみを残す制度づくりはやめてください。
3. 高齢者と子どもの医療費無料化をはじめ、窓口負担を軽減してください。

氏名	住所



〒113-8462  
東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F  
TEL: 03-5842-5611 FAX: 03-5842-5620  
ホームページ: <http://www.zenroren.gr.jp>



〒101-0063  
東京都千代田区神田淡路町1-5-3 KT淡路町ビル4F  
TEL: 03-5207-5818 FAX: 03-5207-5820  
E-mail: [k25@shahokyo.jp](mailto:k25@shahokyo.jp)